

競技注意事項

1 本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申合せ事項によって実施する。

児童（小学生）である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。そのため、競技者の衣類（※ユニフォームを除く）・バッグ等の広告規程、及び 2020 年度のシューズ規程に関する改定ルール（TR5.2・競技用靴）については適用外とする。

※ 競技者のユニフォームの商標等については、日本陸連の国内規則をそのまま適用するのではなく、主に製造会社名／ロゴ等が過度に大きい場合（例：上着に大きなロゴ）にのみ対応をお願いすることを想定している。

- (1) 1000m、800mを除く種目は、オールウェザー用のスパイクシューズ（ピンの長さ9mm 以内）を使用してもよい。
- (2) 全天候舗装走路では火傷の危険があるので、素足での競技は禁止する。
- (3) スタートはクラウチングスタートとする。その際、スターティングブロックを使用してもよい。
- (4) スターターは、英語で「On your marks : オン・ユア・マークス」（意味：位置について）「Set : セット」（意味：用意※1000m、800m ではない）と合図する。その際、同じ競技者が2回の不正スタートをした場合、その競技者を失格とする。

- (5) リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは、30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。走者が2つ以上のテープなどのマークをつけることは禁止する。また、リレーチームのメンバーの上着のユニフォームは統一したものでなくてはならない。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。

※ 予選に出場のチームは、当日の受付時に配付する「リレー・オーダー用紙」に記入の上、招集完了時刻の1時間前まで（厳守）に招集所の競技者係に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない（R24.11）。

また、決勝に出場する場合には、改めて所定の「リレー・オーダー用紙」に記入の上、招集完了時刻の1時間前（14時40分）までに、競技者係（招集所）に提出すること。

- (6) 友好1000mには、リレーにエントリーしている児童のうち、当日の予選レースに出場しない上に、他の個人種目にエントリーしていない場合に限る。

※ リレー予選のオーダー用紙を提出する際に、友好レースに出場する児童を報告すること。

- (7) 80mHは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。
- (8) 単独の走幅跳・ジャベリックボール投は、一人3回の試技とし、トップ8は行わない。
- (9) コンバインドの走幅跳・ジャベリックボール投の試技は2回、走高跳は2回続けて失敗した場合（同一の高さでなくとも）は試技終了となる。
- (10) 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背、腰等から落下した場合は無効試技とする。走高跳の最初の試技の高さは、コンバインドは男女とも100cm、単独の女子は105cm、単独の男子は110cmとし、以降5cmずつバーを上げ、女子は125cm、男子は130cmになったら3cm刻みにバーを上げる。同一の高さでなくとも、コンバインドは2回、単独は3回続けて失敗した場合は試技終了となる。
- (11) ジャベリックボール投は、主催者側で準備したジャベリックボールを使用し、助走距離は15m以内とする（やり投げのピットを使用する）。投げ方は、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。
- (12) アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者側で準備し、当日、受付で配付する。
- (13) 招集所は、北側バックスタンドの裏側（掲揚台の北側）に設置する。招集に遅れたものは当該種目に出場できない。招集開始時刻には点呼を開始する。

2 感染症対策について（競技者・役員・観客共通）

有観客で実施します。なお、観客の人数や対象等に制限はありません。

感染症対策関連の提出書類は不要とするが、体調不良の場合には、来場を控えること。マスクの着脱については、個人の判断を尊重する。

3 ウォーミングアップ・練習について

練習は、各個人及び指導者・保護者等の責任のもと、ウォームアップ場係の指示により行い、事故防止には注意を払うこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。なお、屋内走路は原則として開放しない（感染症対策のため）。

4 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンドの北側の裏（掲揚台の北側）に設置する。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。招集開始時刻には点呼を開始する。招集完了時刻に遅れた競技者は、原則、当該競技種目を欠場したものとする。

	トラック競技 予選（コンバインド・決勝タイムスを含む）		トラック競技 決勝	フィールド競技 （コンバインドを含む）
	1～3組	4組～		
招集開始時刻	35分前	20分前	30分前	45分前
招集完了時刻	20分前	5分前	15分前	30分前

※ 友好100mの出場者は、全員9時40分までに集合する。

コンバインド競技では、2種目それぞれ上記の時刻に集合する（直接競技場所に集まらない）。

5 アスリートビブス（ビブス）について

- (1) アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者が2枚配布する。競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ナンバーカード）をつけなければならない。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（招集所で配付）をショーツまたは下半身の右後方につける。4×100mリレーでは、最終走者は配付された腰ナンバー標識をつける。

6 競技場内への入退場について

競技場内への入退場は、各ゲートと、バックスタンドの北側の招集所入口とする。競技終了後は、競技役員の指示に従い、最寄りの階段やスロープから観客スタンドに退場する。なお、衣類搬送は行わないため、スタート地点に戻る際は、100m・80mHは屋内走路を通ること。また、1000mは第1曲走路部分をスタンド壁面に沿って戻ること。

7 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。ただし、いかなる抗議も、競技者自身または監督から審判長に対して口頭で行うこととする。

8 表彰について

各種目8位までの入賞者には賞状、3位までの入賞者にはメダルを授与する。ただし、リレー種目については、メダルは6名全員に、賞状はチーム7枚とする。

※ **種目毎に表彰式を執り行うため、入賞者のみ、順位確定後ただちに表彰者控所（正面より入った屋内走路）に集合すること。その際、入賞者は、盗撮・迷惑撮影防止の観点から、Tシャツまたはジャージ（下はハーフパンツ等も可）を着用する（競技用ユニフォームは着用しない）ことが望ましい。**

9 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。

10 上位大会の出場について

(1)「全国小学生陸上競技交流大会」(神奈川県横浜市)について【9月16日(土)～18日(月・祝)】

- ① 5年100m・6年100m・コンバインドA・コンバインドB・男女混合リレーにおいて、本大会で男女各1位になった選手・チームは、全国大会に出場することができる。全国大会への申込手続きは、順位確定後に、第1・2会議室にて個別に行う。

※ リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのチームは全国大会への出場資格を失う。選手は、全日程に参加すること。

- ② 同一人が2種目を兼ねて出場することはできない(コンバインドA・B、リレーも1種目とする)。

- ③ 1位になった選手が全国大会の出場を辞退した場合は、2位以下(順次繰り上げ)の選手が出場することができる。

※ 県外の小学校へ通学している選手については、選考条件があるので事前に確認しておくこと。
(前年度の12月までに、クラブチームに所属していること)

(2)「東日本都道府県小学生陸上競技交流大会」(青森県青森市)について【8月11日(金・祝)】

- ① 本大会で1位・2位になった選手・チームは、東日本大会に出場することができる。

【大会要項より変更・追加情報】

・ 女子800mと男子1000mは実施されないため、男女各1500mへの出場となる。

・ コンバインド種目は実施されないため、個人種目への出場となる(どちらか1種目でも可)。

- ② 参加にかかる経費(大会参加費・交通費・宿泊費など)は、全て各個人・チームの負担となる。1位・2位になった選手・チームが出場を辞退した場合でも繰り上げは行わない。東日本大会への申込手続きは、順位確定後に、第1・2会議室にて個別に行う。

11 その他

- (1) 応援幕・のぼりはサイド及びバックスタンド最上部に張ること。なお、メインスタンドにはテントやタープは、一切張ることができないため、注意すること。

- (2) 走幅跳での本部席上のスタンド(コーンで示す)からの助言は、運営の妨げになるため止めること。また、競技者への助言は、運営の妨げにならないように配慮すること。さらに、競技者に触れたり、審判長の許可なく物を渡したりする行為は禁止とする。

- (3) 今大会より、女性競技者が競技に専念できる環境づくりへの取組みとして、100mスタートの後方スタンドに撮影禁止エリアを設ける。撮影禁止エリアでは、すべての撮影機器の使用を認めない。

<競技会運営留意事項>

○ 事故防止及び競技者はじめ関係者の安全を期すためのテント設営の際の取扱い基準について

- (1) テント設営にあたっては、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定すること又は支柱にバランス良くテントウエイト(オモシ:土砂などを入れた袋等(10～30kg程度)を支柱にくくりつけるなど)を取付けること。
- (2) 風速3m/秒以上になった時又は3m/秒以下でも軽い突風、つむじ風などが発生した時は、アナウンスによる注意及び指示に従って安全対策の実施状況を点検し、上記の基準(1)を徹底することまた、危険と思われる突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたみ飛ばされないようにすること。
- (3) 倒壊及び人身事故があった場合は直ちに状況を確認のうえ大会総務に口頭で報告するとともに、ケガ人等の程度を見て必要に応じ救急車を要請すること。

○ 災害・事故発生に対する措置について

- (1) 怪我の対応について
- ・ 救護役員(医師)による応急手当を行う。
 - ・ 山形陸上競技協会派遣医師による手当てを行う。
 - ・ 近隣病院へ搬送する。この場合は、引率者または保護者対応とする。
- (2) 災害への対応
- ・ 利用施設の災害対応マニュアルにしたがい避難・対応する。
 - ・ スタジアム職員、競技役員の指示に従い避難する。
 - ・ スタジアムは基本的に耐震設計されているので安全である。揺れが収まるまで上や近くの備品が倒れてくることを警戒しながら安全なところにとどまる。
 - ・ 競技続行の判断は、審判長、総務で協議の上行い、放送により通知する。